

※当該テキストの巻末（奥付）に 第2版**第3刷** と記載があるため、本紙もそれに倣って表示しますが、正しくは、第2版**第2刷** です。ご容赦の程、お願いいたします。

p.19 ページ下 パーソナルカラーの年表 の以下アンダーライン部分

＜改訂前＞

1981

キャロル・ジャクソン

『カラー・ミー・ビューティフル』

＜改訂後＞

1980

キャロル・ジャクソン

『カラー・ミー・ビューティフル』

p.33 ①光 ●可視光の範囲 の1行目アンダーライン部分

＜改訂前＞

可視光域……。可視光を大きく3段階に分けると

＜改訂後＞

可視光域……。可視光の範囲を大きく3つに分けると

p.33 ①光 ●可視光の範囲 の図内、最下段

青系の光、緑系の光、赤系の光 の下に、それぞれ（短波長）、（中波長）、（長波長）を加筆



p.42 色相（色み）の違いによる顔の見え方 「個別心理」「青み寄り」の2～3行目を以下の通り修正

色相（色み）の違いによる 主な顔の見え方	黄み寄り	青み寄り
個別心理 Individual Sense	血色よく健康的に見える 暖かみがあり親しみやすい印象	色白に見える クールな印象 すっきりした印象

p.45 ●有彩色の明度は無彩色を基準に考える の最終行に以下を加筆

(p62 CHEK 参照)

p.49 ●彩度は、他の属性と共に変化する場合が多い

＜改訂前＞

明度は・・・だけではなく、彩度と清濁の属性
に違いがあります。・・・

の4－5行目のアンダーライン部分

＜改訂後＞

明度は・・・だけではなく、清濁の属性
にも違いがあります。・・・

p.51 PRACTICE ここまで学んだことが理解できたか確認しよう！

Q2 図、左側の  の色を明度高く、彩度低く修正

⇒実際の色は、テキスト本書でご確認ください。

p.52 清色・濁色

色の区分

●パーソナルカラーにおける「清色」

●パーソナルカラーにおける「濁色」



この部分のフォントを太く・大きくして、
意味を捉えやすく修正

p.56 CHECK 色の属性とパーソナルカラー の表の見出し、1行目、2行目を以下の通り修正

色の属性	顔への主な影響	色の属性：顔への効果
色相 (ベース)	顔の色み	黄み寄り：(顔に色みが加わり) 黄みを帯びて見える 青み寄り：(顔の色みが抜けて) 白く見える

p.62 CHECK トーン&明度の関係と留意点

について、次ページの通り、図と解説を修正しました。

正しくは、テキスト本書でご確認ください。

CHECK

トーン & 明度の関係と留意点

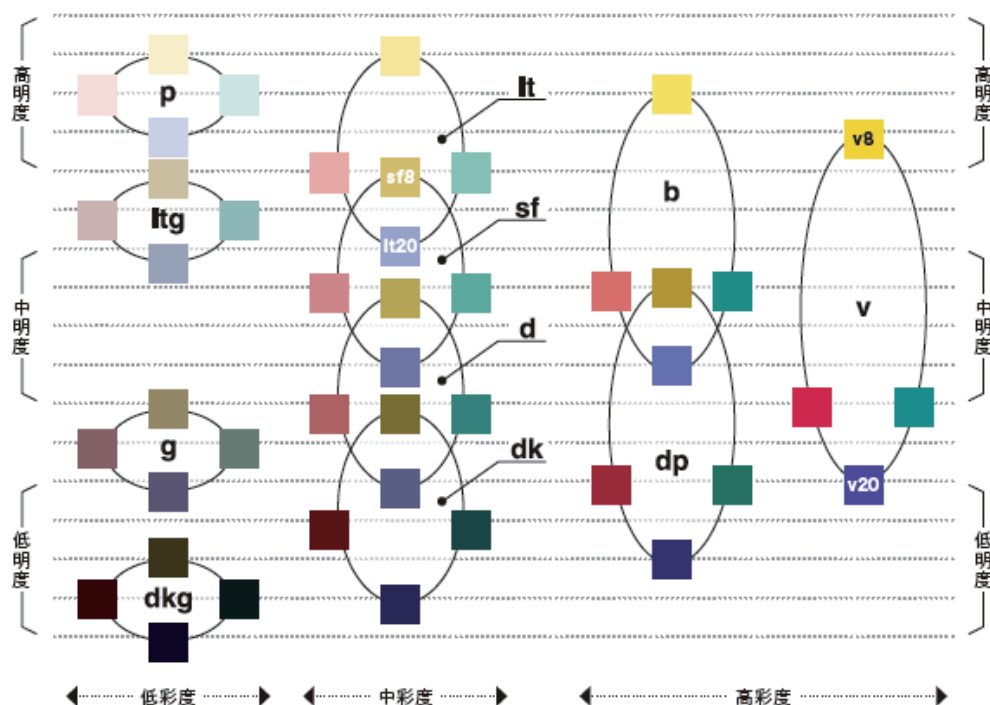
● トーン図で各色の明度を確認することはできません

右のトーン図で、ビビッドトーン (v) は中明度あたりに位置しますが、vトーンの色が全て中明度というわけではなく、黄 (v8) は高明度で、青紫 (v20) は低明度です (下図参照)。例えば、「ライトトーンの青紫 (lt20)」と「ソフトトーンの黄 (sf8)」では「lt20」の明度が高いと思いがちですが、実際は「sf8」の方が明度が高いのです。つまり同じトーン内であっても色相により明度が異なるため、トーン図で各色相の明度を把握、比較することはできません。同じトーン内であっても色相によって明度が異なることを、下図でしっかり確認しましょう。(P45「パーソナルカラーにおける明度の特徴」参照)



<トーンの明度範囲> 同じトーンの中で明度は下図のように差があります。

備考：明度の領域 (高・中・低) は PCCS の分類に従っています。lt*, p* は表示していません。



● 全ての色をトーンに当てはめて考えることは難しい

PCCS トーン図は、無数にある色のうち代表的な色を用いて作成されています。つまりトーン図に表示されていない色は数百万色にのぼります。パーソナルカラーを分析診断する際は、数ある色の中から似合う色を属性で細かく見比べていきます。似合う色もそうですが、目の前の色が「b と sf の間あたり」というように特定のトーンにぴったり当てはめることは難しいことも理解しておきましょう。

p.88 春のグループの色の特徴

「心理効果のまとめ」「彩度」の「共通心理」の2行目

＜改訂前＞

肌の色は濃く見える

＜改訂前＞

肌の色は鮮やかに見える

p.89 夏のグループの色の特徴

「心理効果のまとめ」「色相」の「個別心理」の2行目

＜改訂前＞

クールですっきりした印象

＜改訂前＞

クールな印象、すっきりした印象

p.91 冬のグループの色の特徴

「心理効果のまとめ」「色相」の「個別心理」の2行目

＜改訂前＞

クールですっきりした印象

＜改訂前＞

クールな印象、すっきりした印象

p.91 冬のグループの色の特徴

「心理効果のまとめ」「彩度」の「共通心理」の2行目

＜改訂前＞

肌の色は濃く見える

＜改訂前＞

肌の色は鮮やかに見える

p.97 ①「イエローベース」と「ブルーベース」、どちらが似合うか見てみましょう の表内
「ブルーベース」の「似合う場合」2行目

＜改訂前＞

クールですっきりした印象

＜改訂前＞

クールな印象、すっきりした印象

p.101 検定試験練習問題 の D 類似トーン配色 の ①、③ の色をわかりやすく訂正

➡実際の色は、テキスト本書でご確認ください。